



12・1月号

なばりんく



しあわせ写真

ふれあいフェスティバル

まちびと探し

今月の
まちびとさん



おすだ くみこ
押田 久美子さん (34歳)
「憩い茶屋」(梅が丘地域)
ボランティア

3歳と小学校1年生の男の子の母でもある押田さんは、梅が丘市民センターで開催されている「憩い茶屋」でボランティアを始めて1年になります。

ボランティアを始めたきっかけは、押田さんのお母さんが先に市民センターで活動をされていて「とても楽しい、一緒にしよう!」と声を掛けられたのが始まり。

看護師をしながら子育てと忙しい中、「じっとしているのが嫌い、何か初めてみたい」とバイタリティーのある押田さん。

「人と関わるのが好き、ボランティアをされていて嫌なことなんて何もない!」と、とても素敵な笑顔で話してくれ、「もっと若い人にも仲間になって欲しい。なかなか、きっかけを掴めないかも知れないけど、ぜひ勇気をもって初めてみて!」と若い世代の方にメッセージをくれました。「これからも、色々なボランティア活動をしてみたい!」と、意欲溢れる押田さんの笑顔はとても魅力的でした。

地域ピックアップ

《青蓮寺・百合が丘地区》

2015 青蓮寺・百合が丘地域フェスタ

平成10年から始められた「百合が丘市民センターまつり」は今年で17回目を迎え「青蓮寺・百合が丘地域フェスタ」となり11月7日(土)9:30~16:00に行われました。

開催日前から、設営などに関わったボランティアの数は200人を超え、文字通り地域によるお祭りとなり、当日約2,400人の来場者がありました。

日頃市民センターで教室を開催している8団体のステージ発表や、文化教室17団体による作品展示があり、活動の様子をうかがうことができ、また地域で活動している団体によるフランクフルト、うどん、焼きそばなどの模擬店には沢山の人が集まり、チンドン屋さんの楽しい音楽にも心が弾みました。

青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会会長の山田睦郎さんは「大変なこともあるが、楽しんでもらえることがなにより。地域の方が集まってくれるよう来年も開催したい。」と話してくれました。



サロン活動紹介

赤目地域《カレーサロン「サンサンカレー」》

カレーサロン「サンサンカレー」は今年6月にオープンし、10月に3回目を開催しました。開店と同時にたくさんの方が来て、カレーをおいしそうに食べていました。参加者のなかには「一人暮らしなので、皆と食べるカレーは格別においしい」と話されている方もいます。

また、カレーサロン開催日の10時から「サンサンひまわり健康教室」を開催しており、10月は講師の陶山先生の指導のもと、ノルディックウォーキングをしました。参加者全員で公民館近くをウォーキングし、その後、全員でカレーサロンに行きました。

主催者である赤目まちづくり委員会福祉部部長藤村さんは「赤目全体が交流する場所、機会となればよいし、交流を広げていきたい。」「来年度は今年度以上によいものにして、毎月交流できるようにしたい。」と力強く話してくれました。



カレーサロン「サンサンカレー」



「サンサンひまわり健康教室」



「サンサンひまわり健康教室」

場所：赤目公民館
開催日：偶数月の第3木曜日
時間：10:00~11:30
参加費：お問い合わせください。

「サンサンカレー」

場所：赤目公民館
開催日：偶数月の第3木曜日
時間：11:30~13:30
参加費：100円(お皿、スプーン持参)

ボランティア トーク リレーTalk!



ひらい えいこ
平井 榮子さん

早期退職をした、数か月後「にほんご指導ボランティア養成講座」という記事を見つけ、思い切って連絡してみました。

生活者として地域に住んでいる外国の方に生活に必要な日本語を習得できるよう支援していく取り組みでした。

計 32 時間受講した後、伊賀市の「ささゆり教室」で外国につながりをもつ小・中学生の学習支援をはじめることになりました。やんちゃで可愛い子どもたちとのふれあいはとても楽しく、いつも元気をもらっています。

名張では「ゆうあい日本語の会」に参加し社会人の方にマンツーマンで日本語指導をしています。

学習者との関わりの中でいろいろなことを学ばせてもらい、生きがいの一つになっています。



12・1月の “みんなでいっしょに 唄いませんか”

開催日：12月11日(金)
1月18日(月)

上記いずれも

- ◆時間：10：30～11：30
 - ◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあい「ふれあいホール」
 - ◆対象：市内在住の
子育て中の親子から
高齢者まで
- ※参加費無料・申込不要

介護者サロン “さくら喫茶”

開催日：毎月第3水曜日

- ◆時間：13：30～15：00
 - ◆内容：小物づくりと茶話会
 - ◆会場：福祉まちづくりセンター
(イオン名張店 3階)
 - ◆対象：市内在住で、介護をされている方、介護に関わりのある方
- ※参加費無料・申込不要

【金色夜叉】

「金色夜叉」は、明治30年1月1日から5年半にわたり読売新聞に掲載されました。尾崎紅葉の代表作です。

では「金色夜叉」は、どんなお話なのでしょう？

寛一と宮は恋仲であり、婚約をしていました。しかし宮は、富豪の富山家の財産に目がくらみ、富山のところへ嫁ぎます。それに激怒した寛一は熱海で宮を問い詰めますが、ここで有名なセリフがあります。「一月一七日、宮さん、善くおぼえておき。来年の今月今夜は寛一は何処でこの月を見るのだから！(省略)」来年の今月今夜になったならば、ぼくの涙で必ず月は曇らせて見せるから(省略)」寛一はこう言って下駄を履いた足で宮を蹴り、行方をくらませてしまいます…。

今も昔もやっぱりお金の力は愛よりも大きいという事なのでしょう(笑)？

熱海に、寛一が宮を蹴飛ばしている銅像があるそうです。

歌は、大正7年に作られました。7番まであり、長いですが物語に沿った歌詞で、なかなか面白いですよ。みんなで唄ってみませんか？

ご一緒にうたいましょう。お待ちしております。

介護者のつどい(食事会&交流会)が開催されました

9月30日(水)に「なばりの湯レストラン桔きょう」で、介護者のつどいがあり、16名の参加がありました。介護をしている方や介護を経験したことのある方が近況を話したり、情報交換をされていました。美味しい食事をとりながら介護仲間とお喋りをし楽しい一時を過ごすことができました。介護をされているみなさん、次回ぜひご参加ください。



手づくりレシピ紹介 人参たらこ



提供:川崎 牧子さん(ボランティア)

- ①人参は細いせんざりにする。つまでついてもOK!
- ②たらこは1cmくらいに切る。
- ③①をサラダ油でいためる。
- ④人参がしんなりしたら②を入れ酒をふり、人参とからめ、さらに炒める。
- ⑤たらこの色が変わり始めたら味見して塩をおこのみで入れて完成!



◆材料

人参	中2本
たらこ	中ひと腹
酒	少々
塩	適量
サラダ油	適量



~サロンや地域の集まり、ご家庭で作ってみませんか~

名張のむかしを歩もう!

寒い毎日ですが、皆さまお変わりございませんか?

2015年も早12月です。クリスマス、お正月と多忙になりますが、お身体大切にしてください。おきつもを語る会の川瀬洋二会長が9月23日に死去されてから早2ヵ月以上…未だ信じられないこの頃です。



旧町の地図作成や、ジオラマ作り、14・15カ所への真夏の集会所めぐり、切り絵を写して昔話を語ったり、体操で笑ったり、昨年の名張市60周年記念での川瀬さんの姿が残っています。

ご冥福をお祈り申し上げます。

そして、皆さまのよき2016年を祈って!!



おきつもを語る会 池井 初女

協力:おきつもを語る会

(同会は、名張の昔について、見聞や体験で得た習慣、行事など座談会を通じて参加者と共に語り合い、資料にまとめ冊子にするなどして、多くの人に名張の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループです。)

発行:社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地 名張市総合福祉センターふれあい内
電話番号 63-1111

福祉まちづくりセンター

ショッピングセンターリバーナ(イオン名張店)3階

電話番号 62-7388

ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>

発行部数:1,300部

〈設置場所、協力店舗〉

総合福祉センターふれあい、福祉まちづくりセンター、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、子ども支援センターかみやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近畿大学工業高等専門学校、名張市役所、名張市立病院、名張市立図書館、総合体育館、協力店舗等(吉野豆腐、はなびし庵、なの花薬局夏見店、山平たばこ店、café*mjuk、books アルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋、東整形外科、ワウリヤ本店、ふれあいサロン「ゆこゆこ」、コミュニティプラザナウラ

《名張市内の中学校では、クラス掲示をしていただいています。》

★地域福祉活動情報受付中! 『地域で子どもや高齢者と一緒にこんな活動しています』『サロンでこんな活動しています』『地域でこんな福祉活動している人がいます』などなど・・・情報をお知らせください。社協職員が取材に伺い情報発信していきます!

次回のなばりんくは2月1日発行